



2018年11月2日

各 位

会社名 株式会社宮入バルブ製作所
 代表者 代表取締役社長 西田 憲司
 (コード番号 6495)
 問合せ先 執行役員経営管理部長 市川 浩
 (TEL 03-3535-5575)

2019年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異

及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2018年5月8日に公表しました2019年3月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、2019年3月期通期業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異 (2018年4月1日～2018年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,200	50	45	40	0.84
実績値 (B)	2,247	△0	△7	△10	△0.23
増減額 (B-A)	47	△50	△52	△50	
増減率 (%)	2.1	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	2,319	37	75	83	1.75

2. 2019年3月期通期業績予想の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,500	120	110	100	2.09
今回修正予想 (B)	5,100	80	70	60	1.25
増減額 (B-A)	△400	△40	△40	△40	
増減率 (%)	△7.3	△33.3	△36.4	△40.0	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	4,888	57	101	104	2.18

3. 差異および修正の理由

売上高につきましては当初予想を上回りましたが、営業利益につきましては、当社製品の主要原材料である黄銅材の価格が年初から引き続き高値で推移したこと、人件費が増加したこと、荷造費等の諸掛かりが上昇したこと、およびこれらに対処すべく取り組んだ製品の値上げが当初予定より大幅に遅れたことにより、収益が圧迫され、当初予想を大きく下回り営業損失を計上することとなりました。この結果を受け、経常利益および四半期純利益もそれぞれ損失計上となりました。

2019年3月期の通期業績予想について、売上高につきましては、上期は当初予想を上回ったものの、LPGバルク附属機器の交換需要の立ち上がり当初予想よりも遅れていること、および値上げの浸透が遅れているため修正いたします。一方で、内製化の促進による外注加工費の削減等、更なる原価低減の努力を継続すること、および製品の値上げが浸透する見込みであることにより上期よりも収益性が改善する見込みです。この結果、営業利益、経常利益および当期純利益の各数値についても、上期の損失を踏まえ、修正いたします。

なお、配当予想につきましては変更ありません。

※ 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想値と異なる可能性があります。

以 上